

令和7年度 学校安全総合支援事業 「全国成果発表会」



～県立学校における災害対応力の強化に向けて～

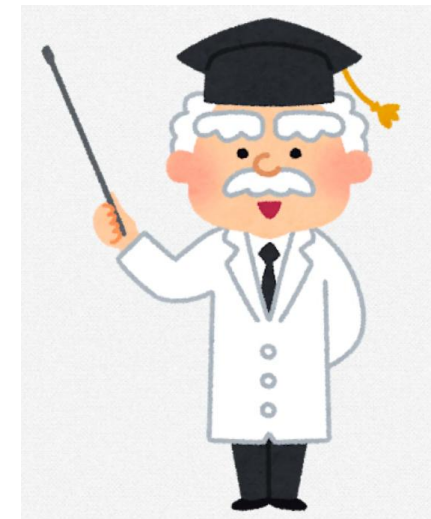
石川県教育委員会事務局 保健体育課
指導主事 本吉 秀充

学校に何が必要なのか

■現状と課題

<専門家の声>

- ・教職員が災害時に主体的に行動できるよう、
責任感と使命感を醸成すること



<学校現場の声>

- ・危機管理マニュアルを“使えるもの”にし、
災害対応への不安を減らすこと



■ 学校での取組

課題① 教職員の責任感と使命感の醸成

・各学校で「**防災担当**」を位置づけ、**学期に1回以上**の防災教育活動を実施



「自分事として」

■事業での取組

課題② 危機管理マニュアルを“使えるもの”にし、災害対応への不安を減らすこと

- ・学校安全総合支援事業の拠点校を10校に拡充し、専門家を派遣
- ・近隣の5～6校でグルーピングし、毎年、拠点校をローテーション



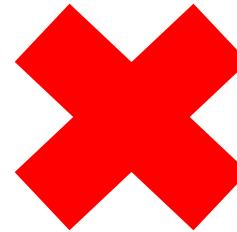
県立学校における災害対応力の強化に向けて



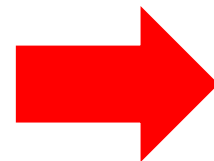
①学校の主体的な防災教育活動



②組織的・継続的な専門指導



強い使命感と実践力を兼ね備えた
教職員の養成と学校組織の構築



石川県全域の学校における
災害対応力の強化

■ 成果と課題

<成果>

- ・想定される災害や被害状況を知り、**自分事**として捉えた
- ・情報交換会で**連携校**と事例を**共有**し、改善点を把握
- ・**ハザードマップ**活用により**地域特性**に応じた防災対策の検討
- ・マニュアルへの指導、助言により追加、訂正箇所の**明確化**



<課題>

- ・「**落ちてこない、倒れてこない、移動してこない**」物の固定、落下防止対策
- ・安否確認方法の改善
- ・「**いない人**」がいないか！ 避難訓練後は、点呼を最優先
- ・保護者引き渡し・引き留め手順の整備



石川県立輪島高等学校の防災の取組

石川県立輪島高等学校
教諭 福光 英徳
2年 川口はるひ
坂口こころ

令和8年2月5日（木）

令和7年度学校安全総合支援事業（災害安全）「全国成果発表会」

| 学校の概要

- 石川県輪島市の県立高校
- 全校生徒224名（令和8年1月1日現在）

※ 令和5年5月4日 307名

- 令和6年に二度の天災に遭う
- 生徒の心身のサポートが急務



1 令和 6 年能登半島地震

① 発生日時 令和 6 年 1 月 1 日 16時10分

② 地震規模

最大震度 7 マグニチュード 7.6

③ 被害

人的被害：死者 678 名・重傷 401 名・軽傷 876 名

住宅被害：全壊 6,168 棟・半壊 18,726 棟

一部損壊 91,553 棟

令和 6 年能登半島地震による人的・建物被害の状況について

石川県危機対策課 第 2 2 2 報 令和 7 年 1 2 月 4 日 1 4 時 0 0 分現在

2 奥能登豪雨

- ① 発生日 令和6年9月21日～23日
- ② 降水量 121mm/h 412mm/24h
- ③ 被害

人的被害：死者 19人・重傷 2 名・軽傷 45 名

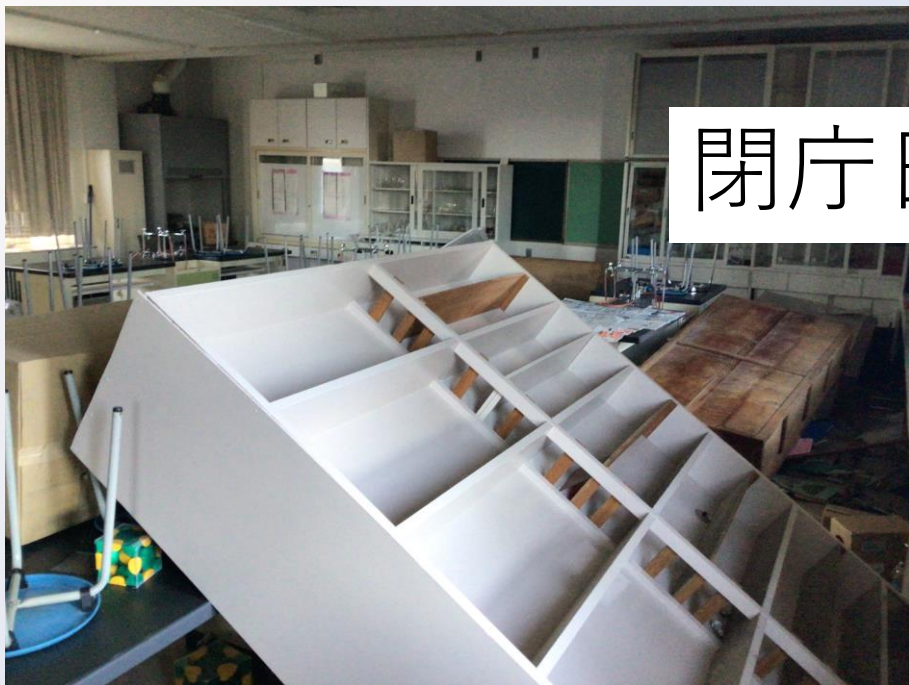
住家被害：全壊 82 棟・半壊 659 棟・一部破損 159 棟

床上浸水 74 棟・床下浸水 928 棟

令和6年奥能登豪雨による被害等の状況について

石川県危機対策課 第62報 令和7年11月20日14時00分現在

閉庁日で生徒の登校がなかった



安否確認が困難



安否確認の方法を再検証



II 学校の防災の取組

1 防災避難訓練（火災）

- ① 実施日 令和7年5月22日（金）
- ② 実施方法 生徒・職員に実施時間を通知せず実施
- ③ 実施時の観点 生徒の避難行動・教職員の災害対応力



2 防災避難訓練（地震・津波）

① 実施日

- ・ 令和 7 年 9 月 2 5 日（木）
- ・ 「学校安全総合支援事業（災害安全）」中で実施

② 実施方法

- ・ 実施時間を通知せず実施
- ・ 生徒には実施日も通知しない

③ 実施時の観点

- ・ 生徒の避難行動・職員の対応力
- ・ Google Formsを用いた安否確認方法の検証



お知らせ

身の安全を第一に行動してください。
まず、氏名のみ入力してください。
避難等が落ち着いたら、できるだけほかの項目の入力をお願いします。

「緊急時安否確認フォーム」入力はこちらへ

緊急時安否確認フォーム

身の安全を第一に行動してください。
まず、4桁番号と氏名のみ入力してください。
避難等が落ち着いたら、できるだけほかの項目の入力をお願いします。

*** 必須の質問です**

出席番号入力（4桁番号） *

回答を入力

名前を教えてください。 *

回答を入力

Google フォームでの安否確認

- ① 発信者が送信できない状況では意味がない
→ ホームページに掲載
- ② 項目が多くなると入力が難しい
→ 入力項目は最小限

安否だけに集中！

Q1 学籍番号・氏名

Q2 状況報告

- ・無事
- ・ケガはしているが、深刻なものではない
- ・ケガはしており、助けが必要である
- ・病院で治療を受けている

Q3 周囲に無事を確認できる輪島高校生はいますか？（わかる範囲で）名前を教えてください。

HRNO	氏 名	入力		HRNO	氏 名	入力	
1101			0	1201			
1102			0	1202			
1103		済	1	1203			
1104			0	1204			
1105			0	1205			
1106			0	1206		済	
1107			0	1207			
1108			0	1208			
1109			0	1209			
1110			0	1210			
1111			0	1211			
1112			0	1212			
1113			0	1213			
1114			0	1214			
1115			0	1215			
....							

入力状況を
一目で把握

生徒のアンケートより

- ・ 実際はいつ起きるかわからないので緊張感があった。
- ・ 危機感や判断力を持たせるために非常に有用だったと感じた。
- ・ 自分たちで考えて動くことで自主性が身についた。
- ・ 事前に避難経路を確認していた。
- ・ 各々が現状に対してどう行動すればよいかを考えて学ぶことができた。

生徒のアンケートより

- ・ いつ来るかわからないのは本番を想定するといいかもしれないけど、ちょっとびっくりしたし怖かったから。
- ・ 友達のスマホから回答させてもらいました。次の訓練の時や本当に地震が起きてしまった時は自分のスマホから回答できるようにしておきます。
- ・ 通信障害時にどうするのか。
- ・ 安否確認は非常事態の際に使用するため、パスワードを入力しないと使えないのはやめたほうが良いと思った。

生徒に対する配慮

- 避難経路等を知ることによって安心できる日常生活
- 避難訓練による避難の成功体験の積み重ね
- P T S Dを持った生徒に対する
教育相談課との連携
緊急地震速報などの実際の警報音は用いない
生徒によっては参加させずに帰宅させる

少しずつ心身の回復も大切にする

III 今後について

- ・ 通信障害時の対応を再検討。
- ・ フォームの内容をより端的なものにする。
- ・ 入力者の確認を簡単にする工夫。

震災を経験したから考えられる，より実践的な対策！



危機管理マニュアルの不断の改善と具体化！



速やかな安否確認は，速やかな教育活動の再開につながる。



教育の再生は，その地域の復興をけん引する！



未来を創る生徒たちの気持ち



ご清聴ありがとうございました